



つくば・市民ネットワーク通信

発行：つくば・市民ネットワーク
Tel&Fax:029-859-0264
つくば市二の宮2-1-3クラフトビル1F
tsukubahotnet@ybb.ne.jp
http://tsukuba-net.jp

2017年1月26日 vol.49

自分たちのまちを 自分たちでつくろう

3人から 4人への挑戦

「議員を3人から4人へ増やしたい。」かなり難しいだろうと不安を抱いて挑んだ目標でしたが、1万1118票の支持を得て達成することができました。4人を目指した理由は、今までよりも「市民の声」を市政に反映させたい、という強い願いからでした。例えば、3人から4人になることで、市議会に設置されている4つの常任委員会のすべてに一人ずつ市民ネットワークの議員が参加することができる。一議席の持つ力の大きさは、4年前の市議選で2人から3人へ増やした時に、深く実感したことでした。

始まりは 変えたい思いから

12年前に、小中学校の給食への遺伝子組み換え食品の使用をやめてほしいと行政へ働きかけたことが、つくば・市民ネットワークを立ち上げるきっかけでした。どんなに署名を集めても、議員へ陳情しても、実際には市の政策が変わ

らないことに無力感をおぼえつつも、何かやれることがあるはず。それが、意思決定の場である議会に自らが席を置き、議論の場に加わることで。何度も話し合いながら、身の回りの問題に関心を持つ市民が集まり、政治に市民が参加するための「ツール」道具として議員を送り出す運動を始めました。



しかし、いざ市議を擁立してみると、議員ですら全然知らないところで、議論もままに市の政策が決められてしまう地方自治の現状を知らされました。

「どこかで誰かが勝手に決めていく。」ようなつくば市政に対する不満が強く表れたのが、8割の市民が反対した、2年前夏の総合運動公園建設に関する住民投票でした。つくば市で初めて、市民が行政に対して意思を示した大きな出来事です。

これまでの市政を変えたい思いが、今回の市民ネットの4名当選につながったと思います。

「市民自治」を 目指して

どんなつくば市に住みたいですか。「選挙が終わったからあとは議員に頑張ってもらおう」とお任せにしていますか。市民ネットの4人の議員は私たち市民と市政のパイプ役。一人ひとりの思いを反映させた「まちづくり」を、みんなで力を合わせて目指すための、4議席です。誰かが決めるのではなく、自分たちは、市民が主人公となってまちをつくることにほかなりません。

住民投票と去年

の市議選で一歩大きく踏み出したのは、つくば・市民ネットワークではなく、つくば市に「市民自治」を作りたいと願う私たち一人ひとり。自分たちのつくば市つてこうなったらいいよね、こういう未来を作れたら面白いよね、と自分の言葉で語り始める時です。

選挙に関するアンケート

つくば・市民ネットワークでは、選挙の投票率アップを目指しています。今後の参考とするため、以下の質問にお答えください。

- 昨年11月に市長選挙、市議会議員選挙がありました。あなたは投票に行きましたか？
行った 行かなかった
- 今回の選挙の投票率は約53%でした。有権者の約半数が投票に行かなかったのですが、なぜ行かないと思いますか？(いくつでも)
 - ① 選挙があることを知らなかった
 - ② 投票所がどこかわからなかった
 - ③ 投票所が遠くて、行くのが大変
 - ④ 忙しくて行く暇がなかった
 - ⑤ 投票したい候補者がいなかった
 - ⑥ 市長や議会が身近でない
 - ⑦ つくば市政に興味がない
 - ⑧ 各候補者について情報が不足していた
 - ⑨ 自分一人位投票に行かなくても影響ない
 - ⑩ その他()
- 選挙の投票率を上げるにはどうしたらよいと思いますか？

●つくば市のまちづくりについて、ご意見をお聞かせください。



いつでも市民ネットの事務所へ語りに来て下さい。新しいつくば市を自分たちで作っていきましょう！

議員と話そう!会

定例市議会の報告を兼ね、代理人(市議)の北口、宇野、皆川、小森谷を交え、様々な情報と意見交換を行います。お気軽にご参加ください。

- 2月10日(金) 10:00~12:00 荃崎交流センター 研修室
- 2月10日(金) 13:30~15:30 春日交流センター 小会議室
- 2月12日(日) 13:30~15:30 つくば・市民ネットワーク事務所

どうする？前市政からの残された課題…

前市長時代の課題や問題点について、また、五十嵐新市長の公約にあった「総合運動公園検証チーム」について質問しました。

1. 竹園3丁目ショッピングセンター周辺の再構築について

今回の質問で、「11月までに方針を出す」という「期限」には、根拠がなかった点がわかりました。今後、根拠のない期限を設定し拙速に結論を迫るような進め方はやめるよう求めました。また、住民の意見を十分集約し、丁寧な議論の下で進められるよう要望しました。

2. 秀峰筑波義務教育学校について

12/13の全員協議会で工事の進捗状況の説明があり、市と教育局は工事の遅れを10月中旬に事業者から口頭で報告を受けたと判明。何故、その時点で対応しなかったのか、また工事の発注自体が入札不調で3ヶ月遅れ、H29年4月開校に間に合わないのは予測できていたのではないかなど追及しました。

今後、開校については保護者へアンケートを実施し、判断の参考にすると市長。アンケートに際しては結論が誘導されることなく、保護者が判断できるよう各選択肢のメリット・デメリット

トなどの情報提供を要望しました。

3. 水守地区のソーラーシェアリング※について

水守では20haのソーラーシェアリング申請時の作物を一度も作付されないままに作物変更が認可されました。これに引き続き、実績も出ていない中、23haの追加申請があり、現在43haという広大な農地でソーラーシェアリングが進められています。しかし、営農ができるのか、実績が未確認の段階で認可した農業委員会の判断は適切だったのか追及しました。

現在は、まだ法的な縛りがないとの答弁。今後、乱用を避けるために国への法整備の要請や市の独自ルールなどの検討を要望しました。

※農地の上に太陽光パネル等を設置し、農業と発電事業を同時に行うこと

4. 総合運動公園検証チームについて

「住民投票の結果を受け、行政経営の適正化や透明性の向上をはかり今後の大規模プロジェクトを推進する際に一つの指針にしたい。今議会で設置条例を提案し、弁護士や専門家など第三者で構成される委員会を設置し、用地購入についても検証する」との答弁があり、徹底説明を要望しました。



つくば市議会議員
環境経済常任委員会委員長

北口ひとみ

一般質問項目

- ・竹園3丁目地域拠点再構築
- ・秀峰筑波義務教育学校
- ・水守のソーラーシェアリング
- ・運動公園問題検証チーム



すべての子どもに放課後の居場所を！

つくば市には37の公立小学校（義務教育学校含む）がありますが、同じ公立でも「児童館があるかないか」で子どもたちの放課後の環境は大きく違ってきます。



公営と民営で大きな違い

児童館とは、地域の子どもの居場所として就学前の子どもも利用できる施設で、児童館のほとんどは隣接する小学校の児童クラブの活動場所にもなっています。児童クラブ（学童保育ともいう）とは、共働きで日中不在などの理由により、家庭に代わって放課後に子どもを保育する事業ですが、児童館が近くにない小学校では、市が場所を用意し（公設）、保護者が運営しています（民営）。この公設民営の児童クラブでは保護者の負担が大きすぎる、と以前から悲鳴のような訴えがあがっています。

対して、児童館で行われている公設公営の児童クラブではこれほど大きな保護者の負担はありません。すべての学校に児童館を造って、児童クラブを公営にできれば理想でしょう。しかし、新たなハコモノを造るのも難しい…。

空き教室を活用した「放課後子ども総合プラン」

それならば、と私は学校の空き教室を活用する「放課後子ども総合プラン」の推進を求めました。文科省と厚労省で普及を推進している事業で、運営主体は市になります。親の就労に関わらず全ての児童が放課後、空き教室や図書館、体育館などで過ごすことが可能になります。先進事例として守谷市の状況を紹介しました。

地域のボランティアを（有償で）募れば、より地域に開かれた学校となり、防犯の面でも効果があるでしょう。またつくばには大学もありますし、さまざまな教育支援団体、研究者の参画も期待できるのではないのでしょうか。五十嵐市長も公設民営の児童クラブの解消や児童館の増設を公約で訴えており、この総合プランに関しても「非常に可能性のある話」と前向きな答弁でした。守谷の例は例として、つくばに合ったスタイルをどうつくっていくのか、引き続き提案していきます。

公設民営の児童クラブはこんなに大変！

役員、特に会長になると仕事を休んで対応しなければならない事が多い。指導員の確保が大変で、有給休暇をとってハローワークに行ったり、面接をしたりしている



万一、クラブの児童が事故にあった時、会長の責任になるのかと不安でしょうがない



共働き世帯が増えて入会希望者が増えていくが定員はいっぱい。どのような基準で入会を決定するのか、会長の責任で決めなくてはならないのも大変心苦しい。責任を負うことが多すぎて、後任の会長を頼める人がいない



料金受取人払郵便



差出有効期間
平成31年1月
16日まで

郵便切手は
いりません

POST CARD

3 0 5 8 7 9 0

つくば市二の宮 2-1-3
クラフトビル 1F

つくば・市民ネットワーク行



議決結果説明 ※左ページの議決結果をご参照ください

今議会には指定管理者の更新に伴う議案が5件出されました。

市民ネットでは、現行の指定管理者制度の不備が多いとして反対しました。公園管理の4件については、指定管理者がさらに委託する場合の規定が不明確で雇用内容が不透明という理由で反対しました。また、子育て総合支援センターの場合は、関連機関の中核的

役割を果たすためには、今の指定管理者の指定では難しいと判断し反対しました。

また、昨年政府が、今年3月をもって「原発事故による自主避難者の住宅支援」が打ち切りになるという方向性を示したのを受け、住宅支援を打ち切らぬよう国や県へ意見書を提出する議員提案を提出し、賛成多数で可決しました。

年齢 _____ 歳代

差支えなければご連絡先をご記入ください。
報告などをお送りします。

お名前 _____

〒 _____

ご住所 _____

電話番号 _____

新体制での初議会。様々な地域課題へどう向き合っていくのか？



つくば市議会議員
総務常任委員

皆川ゆきえ

一般質問項目

- ・つくバス・つくタク
- ・介護保険制度
- ・荃崎庁舎跡地活用
- ・冠水対策



1. つくタク・つくバスの改善について 高齢化が進み生活の足となるよう、バスルート見直しや停留所増設の改善が必要なつくバス・つくタク。新市長は「交通政策は最重点政策の一つ。まず、来年度はオペレータ増員、増車等の緊急避難的対策を実施、さらに根本的につくタク運行体制を見直し、地域と対話をつみ重ね、どういうルートが望まれているか再検討していく」という方針です。これまでなかなか要望が通らなかったつくバス・つくタクが新たな方向に進み始めます。

2. 介護保険制度の改正の内容について H29年度から徐々に「要支援1、2」などが介護保険制度から切り離され、自治体ごとの「総合事業」に移行します。対象者が混乱しないよう、早期にそのメニューや料金をHPや広報で示すよう要望しました。

3. 荃崎庁舎跡地活用について 前市長のもとではH22年策定の計画（バス待合所建設）に基づき、基本設計と現地測量を実施中でしたが、このまま進めていいのか？新市長は「市民説明会で様々なニーズを聞き、市計画案と住民意見との乖離を感じた。地域に望まれているものは何か、利便性向上・発展に

つなげるためには、計画を再検討し、どういうものが必要かというところから考えていきたい」と表明。地域活性化のきっかけとなるよう、市民とともに知恵・アイデアを出し合い計画を考えるよう求めました。

4. 冠水対策の現状と今後の対策について 大雨の際に冠水が起きている各地区の現状と対策を確認しました。まず、高見原地区は猪子池の除草や排水路清掃を行い冠水頻度は減少。H22年の牛久市との協定に基づき、今年度は測量等の現況調査、今後、事業計画の策定と早期の工事着手に向け、牛久市と協議を進めていく。次に、森の里地区は、排水ポンプ11機のうち5機は自家発電装置設置、残り6機は未設置のため今年度より順次設置予定。そして、大角豆地区はマンホールポンプ設置により冠水頻度は減少したが、集中豪雨時に乙戸沼の水位があがり水路周辺が冠水するため、H29年度末を目途にポンプでの強制排水対策を実施予定。

市民ネットは今回得られた答弁が着実に実行されるよう、引き続き求めていきます。

新市長から前向き答弁続出！

会議の見える化、支援員の大幅増員、給付型奨学金の継続・・・

新市長の公約にはこれまで私たちが求めてきたことが多く盛り込まれています。その確実な実現と、つくば市が直面している課題の解決を目指し、5項目を質問しました。

Q1：市政の透明性確保のため、「すべての会議を見える化する」という市長公約の実現手続きは？

A：会議の公開に関する指針を条例化する。それには時間がかかるので、まずは今ある指針を見直している。

Q2：水道事業会計について。審議会答申の38%値上げ案は市民生活への影響が大きすぎる。一般会計から補助を増やす等、値上げ幅を抑えるよう提案。

A：答申内容を精査している。まず県へ水道料金値下げの交渉を行い、その上でどういう事業経営のあり方があるか判断していきたい。



Q3：公共施設等総合管理計画について、市の考え方は？

A：公共施設の効率的、効果的な維持管理により、財政負担の軽減、平準化や、有効活用のための基本的な方向性を示す。策定後の推進体制づくりや人材育成、出来上がった公共施設白書にバリアフリーや地域の視点を盛り込むよう提案。

A：今後は維持管理マニュアルの作成、予防保全型の修繕、個別施設計画の策定等、施設所管部署と連携し進める。白書の更新は年度ごとに行い、バリアフリー対応状況や地域情報も追加する。

Q4：「特別支援教育支援員の大幅増員、児童発達支援センター設置」という市長公約の実現は？

A：支援員は各校の要望通りの人数を配置したい。児童発達支援センターは市民ニーズ、他自治体の状況を調査し、つくば市の実情にあったものを検討する。

Q5：市独自の高校生向け給付型奨学金制度の継続を。

A：継続できるよう、財源確保の検討を進めている。



つくば市議会議員
都市建設常任委員会副委員長

宇野 信子

一般質問項目

- ・市政の透明性確保
- ・水道事業会計
- ・公共施設等総合管理計画
- ・障害児支援の充実
- ・奨学生制度



2016年12月議会議決結果 請願：「愛和病院までの『つくタク』運行を求める請願」と「待機児童解消に伴う民間保育士等確保対策に関する請願」は全会一致で採択されました。

議決の結果 (○：賛成、×：反対)	会派名	つくば・市民ネットワーク	自民つくばクラブ ・新しい風	統一会派つくば 政清会・民進党の会	つくば市民 政策研究会	公明党	日本 共産党	新 社会党	筑峰 クラブ	創生クラブ はがくれ	山中 八策の会
議案：花畑近隣公園他5公園の指定管理者の指定について	可決	×	○	○	○	○	×	×	○	○	
議案：羽成公園他8公園の "	否決	×	×	○	○	○	×	×	○	×	
議案：さくら運動公園他6公園・桜総合体育館他4体育施設の "	否決	×	×	○	○	○	×	×	○	×	
議案：谷田部総合体育館他9体育施設の "	否決	×	×	○	○	○	×	×	○	×	
議案：つくば市子育て総合支援センターの "	可決	×	○	○	○	○	×	×	○	○	
議案：つくば市総合運動公園事業検証委員会の設置をする条例	可決	○	○	×	×	○	○	○	×	○	
子どもの医療費を高校卒業まで、窓口負担なしで無料化を求める請願	採択	○	×	○	○	○	○	○	○	×	
「高額療養費」「後期高齢者の窓口負担」の見直しにあたり、現行制度の継続を求める意見書の採択を求める請願	採択	○	×	○	○	×	○	○	○	○	
原発事故避難者の住宅支援延長について緊急な対応を求める意見書	可決	○	×	○	○	○	○	○	○	○	
各会派の所属議員(敬称略) *は会派代表 (議員数28 議長：塩田)		*宇野、北口 皆川、小森谷	*小久保、五頭、久保谷 神谷、黒田、ヘイズ 長塚	*塚本、大久保 木村修、木村清	*須藤 柳沢 高野進	*小野 浜中 山本	*滝口 橋本 山中	*金子	*鈴木	*高野文	*塩田 (議長)



主な活動報告

- 8/7,8,21,28 議員と話そう会開催
- 9/19 安保法制の発動を許さない9.19つくば集会参加
- 10/4 つくばエクスプレス三市議会推進協議会設立総会出席
- 10/30 まちづくり懇談会開催
- 11/13 つくば市長選・市議選投票日
- 11/15 市議選当選証書授与式(北口、宇野、皆川、小森谷)
- 11/26 街頭演説会開催
- 12/5~12/22 12月定例会市議会
- 12/11 学習会「基礎からわかる 原発はなぜ危険なのか」参加
- 12/18 学習会「つくばの学童保育を考える」参加
- 12/20 生活安全推進協議会出席(北口)
- 12/21 国保運営協議会出席(小森谷)
- 12/24 大豆畑トラストつくば収穫祭参加
- 12/26 子どもとメディアを考える学習会&交流会参加

※放射能汚染から子どもを守ろう@つくば、脱原発ネットワーク茨城へも参加しています。
 ※テーマごとの部会活動の他、市の各種委員会・審議会等も多数傍聴しています。

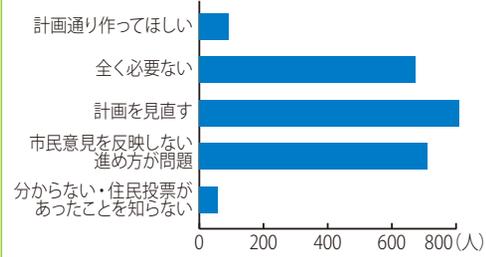
アンケートへのご協力ありがとうございました

市民ネットでは、2016年、3つのアンケート調査を行いました。その一部を報告します。

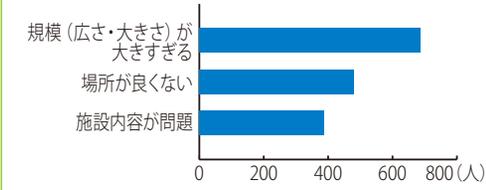
① 総合運動公園と暮らしに関するアンケート(8月~12月実施、1801人回収)

総合運動公園について「計画通り作ってほしい」は3%で、「計画を見直す」45%、「全く必要ない」40%という結果に。「計画を見直す」の中では「規模が大きすぎる」がダントツ。また、暮らしの中で気になっていることでは「医療・健康」37%、「税金の無駄遣い」36%、「教育・子育て」34%の順。巨大な総合運動公園を作るより、税金を無駄遣いせず、医療や健康、教育や子育て等にもっと力を入れてほしいという市民の意識が浮き彫りになりました。

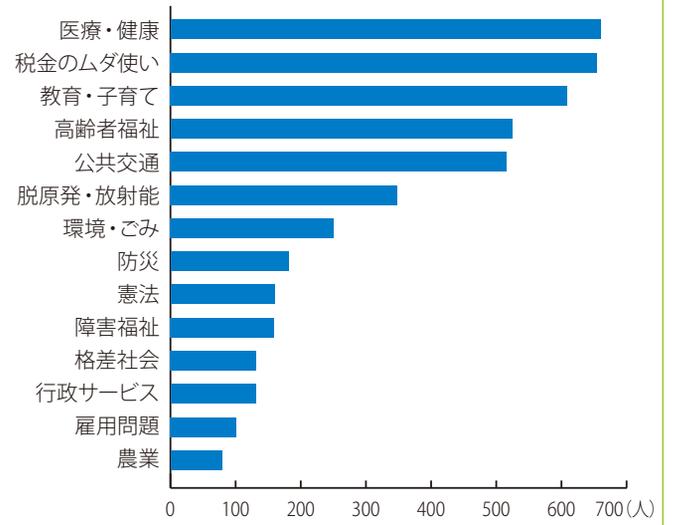
総合運動公園計画についてどうお考えですか？



計画を見直すポイントは？



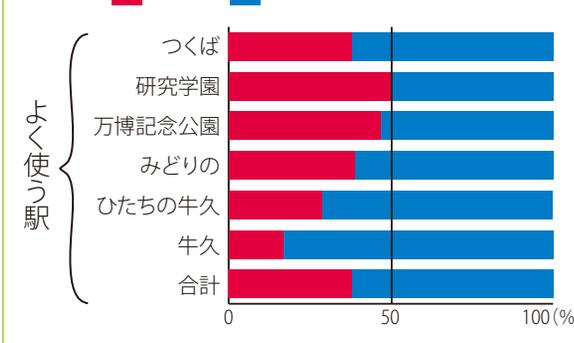
暮らしの中で気になっていること(3つまで)



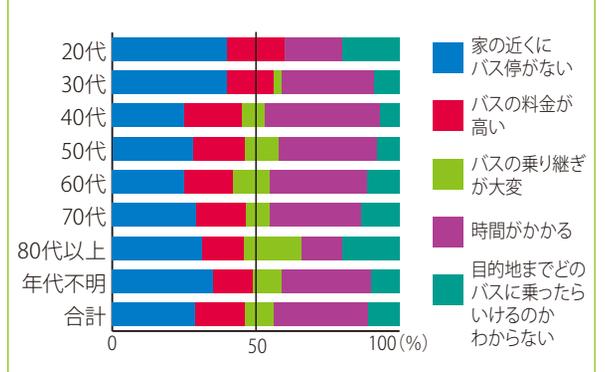
② 駅前駐車場と公共交通に関するアンケート(7月~12月実施、855人回収)

研究学園駅等の駅前駐車場が不足しているという声が届いたため、アンケートを実施しました。「駐車場に停められなくて困ったことがある」割合は研究学園駅が一番多く(50%)、次に万博記念公園駅(47%)。一方、駅まで公共交通で行ったことがない人にバスを使わない理由をたずねると、「時間がかかる」52%、「家の近くにバス停がない」45%という結果になりました。

駅前の駐車場に停められなくて困ったことがありますか？(回答者465人)



年代別・バスを使わない理由(回答者424人)



③ 教育と学校に関するアンケート(9月~11月実施、回答数168人)の結果は現在分析中です。

各アンケート結果の詳細がまとまり次第、つくば・市民ネットワークHPにて公表する予定です。

広瀬隆 講演会

原発再稼働と大地震

2017年4月1日(土)
 開演 13:30~
 土浦市民会館 小ホール
 入場チケット:1,000円



活発な地震活動が続く日本列島で、原発再稼働を急ぐ政府と電力会社。この状況に原発を地震・津波が襲う事態を3.11以前から指摘し、警鐘を鳴らし続けている広瀬隆さんが最新情報を伝えます。

主催: 脱原発ネットワーク茨城 つくば・市民ネットワーク 協賛
 ※ チケット申し込みは、つくば・市民ネットワーク事務所(TEL 029-859-0264)まで

市民ネットでは、福島から市内に自主避難されている方の声を集めています。ご連絡をお待ちしています。



第4回甲状腺エコー検診のお知らせ

2月11日(土) 12時~16時
 筑波銀行本部ビル10F

対象: 5歳以上、福島原発事故発生時18歳以下
 費用: 一人2000円

主催: 関東子ども健康調査支援基金

※ お申し込み・お問い合わせは、
<http://www.kantokodomo.info/yotei.html> または
 市民ネット事務所(TEL 029-859-0264)まで

傍聴記

今回初めて傍聴に行ってきました。議会のある日はよくインターネット中継を見ていますが、やはり議場で熱い議論を聞くのは全く違いました。実際に足を運んでよかったな、と感じます。

今回の議会から、五十嵐立青新市長が答弁に立たれたのですが、一言で言うと「新しい風が吹き始めた」と感じました。特に教育や福祉に対して、真摯に現状を分析し解決したいという姿勢が見られたように思います。小森谷さんが「放課後子ども総合プランについて」の質問の中で、「子どもの安心・安全な放課後の居場所づくり」を訴えた時に、「保護者会運営による学童クラブの保護者の負担を減らし、行政が責任ある学童クラブを作っていくつもりだ。事実すでにそのような学童クラブと対話することを予定している」と市長が明言されました。私は学童クラブとは関係がないのですが、市長が小さなお子さんやそのようなお子さんを持つ保護者に思いを寄せている姿に心打たれました。

これからどんなつくば市に変わって行くのかはまだわかりませんが、期待と共に一市民として微力ながら応援したいなと思います。(Y.I)